「2025年度大学生フィールドワーク合宿プログラムに係る委託契約（企画競争）」（公示日：2025年4月8日）に関する質問と回答は以下の通りです。

通番	該当頁	該当項目	質問	回答
1	P.3	第1 競争の手順 5. 競争参加資格	「(3) その他の要件」の内容が記載されていませんが、この要件はなく、(1)と(2)のみを満たす必要があるという理解でよろしいでしょうか。	ご理解の通りです。
2	P.4	第1 競争の手順 6. 共同企業体、再委託について	外部に講師を依頼する場合、それは補強や再委託に該当しないという理解でよろしいでしょうか。	ご理解の通りです。
3	P.4	第1 競争の手順 7. 競争参加資格の確認	<ul style="list-style-type: none"> ● 全省庁統一資格を有している場合には、その写しや資格確認申請書、資本金関係申告書の提出は必要なく、4月28日期限の提出物はないという理解でよろしいでしょうか。 ● 同資格の業者コードは、プロポーザルの表紙に記載すればよろしいでしょうか。 ● 現在代表者変更の登記手続き中で、提案書提出期限の段階で全省庁統一資格の代表者変更が完了していない可能性があります。それは問題ないでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ご理解の通りです。 ● 業者コードの記載箇所に指定は無いため、プロポーサル内のいずれかに記載ください。 ● 差し支えありません。
4	P.13	第2 業務仕様書(案) 第2-2 研修委託上の条件 1. 契約履行期間(予定)	「2025年8月中旬から2025年9月中旬まで」が契約履行期間とされていますが、2ページ目に記載の内容と異なります。括弧内の注記や他の項目の記述を踏まえると、2ページ目が履行期間で、13ページはプログラム実施時期のように思えますが、その理解で合っているでしょうか。	契約履行期間は2025年6月1日(日)～2025年12月31日(水)、プログラム実施時期が2025年8月中旬～2025年9月中旬となります。
5	P.13	第2 業務仕様書(案) 第2-2 研修委託上の条件 2. 委託契約業務の内容 (1) フィールドワーク合宿プログラム実施前	「⑬宿泊場所及び合宿中の移動手段確保・保険手配」は、受託者が直接行うことを想定しているのでしょうか。それとも、受託者から旅行会社に手配を外注することが想定されるのでしょうか。参加費は無料と主催者の営利性がなくても、受託者には一定の利益が発生すると想定され、旅行業法に抵触するおそれがあるのではという懸念があります。もし、受託者が直接手配することを求める場合、法的に問題ない理由についてご教示いただけないでしょうか。	宿泊場所及び合宿中の移動手段確保・保険手配は、受託者が直接行うことを想定しています。本プログラムにかかる宿泊費等の直接経費は、証憑書類の提出をもって実費精算となります。旅行業法第2条の定義と照らし合わせると、本プログラムにおける受託者の宿泊手配が旅行業法第2条の3つの要件を全て備えているものではないため、旅行業法に該当しません。また、「自治体が発行するツアー実施に係る旅行業法上の取扱いについて(通知)」(平成29年7月28日観産第173号)に関する参考資料の問5.の回答の通り、旅行業法に該当しないことを、広島県の観光課にも確認済みです。
6	P.18	第4 見積書作成及び支払について	<p>「研修委託契約における見積書作成マニュアル」に基づくとしても、参加者＝研修員ではないことを踏まえて、以下について質問いたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 集合場所までの交通費は、参加者が負担・手配するという理解でよろしいでしょうか。 ● 参加者に日当・宿泊料は支払わず、食費や少額交通費は参加者の自己負担、宿泊料は実費を直接経費として支払うという理解でよろしいでしょうか。 ● 研修期間中の交通費(新幹線・特急や車両借上)は、参加者の自己負担となるのでしょうか。あるいは、直接経費となるのでしょうか。 ● その他、研修事業とは異なる経費の扱いがあれば、ご教示いただけないでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ご理解の通りです。 ● ご理解の通りです。 ● 研修期間中に発生する交通費は直接経費として計上可能です。 ● 経費の扱いは原則「研修委託契約における見積書作成マニュアル」に従います。
7			日程について10日とありますが、9日で作成しようと思っておりますが差し支えないでしょうか。	プログラム日程は10日で作成ください。
8			プログラムにJICAの方がいらっしゃる場合、宿泊等の見積もり等はこちらで計上する必要があるでしょうか。	JICA関係者のプログラム参加にかかるいかなる経費も計上は不要です。
9	P.16	第3 プロポーザル作成要領 1. プロポーザルに記載すべき事項及び評価項目	<p>以下の3点は重複しているように読めるため、記載の場所や内容をご確認いただけないでしょうか。(各項目の指定分量が限定的なため、重複の除外を可能な範囲でご検討いただければ幸いです。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 応募機関の経験・能力(1)類似業務の経験「当該業務実施に当たっての組織体制図、担当者名」 ■ 応募機関の経験・能力(2)業務実施上の支援体制等 ■ 業務の実施方針(2)運営面(要員計画・業務分担) 	応募機関の経験・能力(1)及び(2)において、組織・支援体制や担当者名をまとめて記載いただくことも可能です。